請求項１により、ブロック本体における上面部と下面部との間の長手方向 の側面部にコード収納溝部を長手方向の一端から他端まで形成してあるため、コ ード収納溝部に融雪体のコードを納めることによって、縁切りや防護のための縁 石としての働きに加えて、電熱ヒーターを内蔵した融雪体のコードを、損傷、漏 電事故が発生しないように電源まで導くことができる。 Ｂ． 請求項２により、コード収納溝部は、入り口側よりも奥側が広い態様の断 面形状であるため、コード収納溝部内にコードが納まり良い。 Ｃ． 請求項３により、コード収納溝部は、コードを溝部内空間に支持可能な態 様のコード支持部材を備えてあるため、このコード支持部材でコードを溝部内空 間中に支持することができ、漏電対策を一層強化できる。 Ｄ． 請求項４により、コード収納溝部は、断面Ｃ形状のコード把持部材を着脱 自在な態様であるため、施工に際して、予め各融雪体のコードをコード把持部材 に納めておいて、このコード把持部材がコード収納溝部に納まるように施工する ことで迅速且つ確実に施工できると共に、コード把持部材が基準になって隣り合 う縁石ブロック端部が揃えられる。

根据权利要求1，在块主体中的上表面部和下表面部之间的长度方向的侧面部，从长度方向的一端到另一端形成电线收纳槽部。通过将融雪体的电线放入融雪槽中，除了起到切边和防护的边缘石作用外，还可以将装有电热加热器的融雪体电线引导至电源，以免发生损坏、漏电事故。b。根据权利要求2，由于电线收纳槽部是里面侧比入口侧宽的形态的断面形状，所以能够将电线收纳在电线收纳槽内。c。根据权利要求3，由于电线收纳槽部具备能够将电线支承到槽部内空间的状态的电线支承部件，所以能够利用该电线支承部件将电线支承到槽部内空间中，能够进一步加强漏电对策。d。根据权利要求4，电线收纳槽部是能够自由装卸截面C形状的电线握持构件的方式，因此在施工时，预先将各融雪体的电线用于电线握持构件。中，通过施工使该线握持部件进入线收纳槽部，能够迅速且可靠地施工，并且以线握持部件为基准，使相邻的缘石块端部对齐。

例えば、コンクリート製の縁石があり、歩道と車道の境界に配設されて、縁切 りや防護のために使用されている。 ところで、寒冷地等では一般住宅、事業所、会社等における玄関と歩道あるい は車道との間もしくは階段等に融雪のための電熱ヒーターを内蔵したコンクリー ト製融雪ブロックや樹脂製融雪マット等、さらに電熱ヒーターを内蔵したコンク リート製排水ブロック等の融雪体を敷設して、凍結による事故が発生しないよう に備えている。 このような場合にも、縁石は融雪体脇に沿設されて、縁切りや防護のために用 いられているが、融雪体のコードを処理するのに不都合が出ている。 具体的には、コードを縁石の下側に配設しているのであるが、融雪体および縁 石の下側に敷設されている小石がコードを傷付けてしまう虞れがあり、また、縁 石の下側が湿潤状態になっていることもあって、漏電の心配がある。

例如，有混凝土制的路缘石，被设置在人行道和车道的交界处，用于隔离和防护。不过，在寒冷地区，一般住宅、事业所、公司等的玄关和人行道或者车道之间或者楼梯等处，会有内置融雪用电热加热器的混凝土。此外，还铺设了钢制融雪块、树脂制融雪垫子等，以及内置电热加热器的混凝土制排水块等融雪体，以防结冰事故发生。在这种情况下，缘石也被沿设在融雪体旁边，用于切缘和防护，但在处理融雪体的电线时出现了不便。具体来说，是将电线布置在缘石的下方，融雪体以及铺设在缘石下方的小石子有可能会损坏电线，另外，边缘因为石头下面是湿润的状态，所以担心会漏电。

本考案は前記した課題を解決するために、ブロック本体における上面部と下面 部との間の長手方向の側面部にコード収納溝部を長手方向の一端から他端まで形 成してあることを特徴とする。 また本考案では、前記コード収納溝部は、入り口側よりも奥側が広い態様の断 面形状であることを特徴とする。 また本考案では、前記コード収納溝部は、コードを溝部内空間に支持可能な態 様のコード支持部材を備えてあることを特徴とする。 また本考案では、前記コード収納溝部は、断面Ｃ形状のコード把持部材を着脱 自在な態様であることを特徴とする。

本发明的特征在于，为了解决上述问题，在块主体中的上表面部和下表面部之间的纵向侧面部，从纵向的一端到另一端形成电线收纳槽部。另外，本发明的特征在于，所述电线收纳槽部为比入口侧内侧宽的形态的断面形状。另外，本发明的特征在于，所述代码收纳槽部具有能够将代码支承到槽内空间的状态的代码支承部件。另外，本发明的特征在于，所述电线收纳槽部能够自由装卸截面C形状的电线握持部件。

[2] 図１には本考案の縁石ブロックの実施の１形態を例示しており、縁石ブロック １はコンクリート製の直方体状のもので、このブロック本体２は上面部2aと下面 部2bとの間の長手方向の側面部2cにはコード収納溝部３を長手方向の一端から他 端まで形成してある。 このコード収納溝部３は、入り口側が広くて奥側が狭く且つ後で説明する各種 の融雪体のコードを収納可能な態様の断面形状に形成してあると共に、側面部2c における下側寄りに位置している。

[0006] 【０００６】 図２には本考案の縁石ブロックの実施の他の１形態を例示しており、構成は前 記した図１の態様のものと基本的に同一であるため、共通している構成の説明を 省略して、相違する構成について説明する。 縁石ブロック１のコード収納溝部３には複数のコード支持部材４を長手方向に 等間隔状に配設してある。 このコード支持部材４はその基部4aを奥面に埋設して あり、溝部内に突出しているＣ形状の支持部4bには各融雪体のコードを収納可能 に形成してある。

[0007] 【０００７】 図３には本考案の縁石ブロックの実施の他の１形態を例示しており、構成は前 記した図１の態様のものと基本的に同一であるため、共通している構成の説明を 省略して、相違する構成について説明する。 縁石ブロック１のコード収納溝部３は、断面Ｃ形状のコード把持管５を収容可 能な態様に形成してある。 施工に際しては、この長尺状コード把持管５内に各融 雪体におけるコードを収納しておくことによって、縁石ブロック１をそのコード 収納溝部３内にコード把持管５が納まるように並設するだけで効率良く施工可能 である。

[0008] 【０００８】 図４には本考案の縁石ブロックの実施の他の１形態を例示しており、構成は前 記した図１の態様のものと基本的に同一であるため、共通している構成の説明を 省略して、相違する構成について説明する。 縁石ブロック１のコード収納溝部３は入り口側よりも奥側を広い断面形状にし て、断面Ｃ形状のコード把持管６が着脱可能な態様に形成してある。 具体的には 、コード収納溝部３にコード把持管６が密嵌状に嵌合した状態で、各縁石ブロッ ク１の隣り合う端部が揃うようにしてある。 このコード把持管６は断面Ｃ形状の 先端部の一方または双方にコード通し溝部6aを形成していて、コード収納溝部３ に嵌合した状態で、コード通し溝部6aを残して先端部が閉じて、各融雪体のコー ドが密閉状態に収納されるようにしてある。

[0009] 【０００９】 前記した各態様の他に、例えば図４における縁石ブロック１が図３におけるコ ード把持管５と組み合わされた態様であっても良い。

[0010] 【００１０】 図５には前記した図１の態様の縁石ブロック１を用いた施工例を例示しており 、小石８を敷設してある基盤７上に、電熱ヒーター9aを内蔵したコンクリート製 排水ブロック９と、電熱ヒーター10a を内蔵したコンクリート製パネル状融雪ブ ロック10…を両者の上面が同一面状に一致するように並列させて敷設していて、 融雪水が融雪ブロック10上面から排水ブロック９上面側に流れて、同上面の割り 溝9bから内部の排水穴9cを経て排水されるようにしてある。 そして、各パネル状融雪ブロック10脇には縁石ブロック１を、各融雪ブロック 10におけるコード10b がコード収納溝部３に納まるようにして並列状に沿設して ある。 同様に、排水ブロック９脇には縁石ブロック１を、各排水ブロック９にお けるコード9dがコード収納溝部３に納まるようにして並列状に沿設してある。 縁石ブロック１は排水ブロック９および融雪ブロック10よりもそれぞれ若干高 く配設していて、融雪水が排水ブロック９を経て排水されるようにしてある。 前記した施工例で、各排水ブロック９におけるコード9dおよび各融雪ブロック 10におけるコード10b は、それぞれ隣り合うコードと電気的に接続させて、電源 側には１本のコードが接続処理されるようにしても良い。

[0011] 【００１１】 図６には本考案の縁石ブロック１を用いた他の施工例を例示しており、階段下 のパネル状融雪ブロック10脇には図１の縁石ブロック１を、電熱ヒーター11a を 内蔵したコンクリート製の階段状融雪ブロック11脇には同ブロック脇に沿設可能 な態様に形成した縁石ブロック１を、それぞれ配設してある。 そして、階段下のパネル状融雪ブロック10のコード10b と階段状融雪ブロック 11のコード11b をコード収納溝部３に収納している。

[2]图1示出了本发明的缘石块的实施例，缘石块1为混凝土制的长方体，该块主体2为上表面2a和下表面2a。在与部2b之间的长度方向的侧面部2c上从长度方向的一端到另一端形成有电线收纳槽部3。该融雪体的融雪体的融雪体的融雪体的融雪体的入口侧宽、里面侧窄，并且该融雪体的融雪体的融雪体的融雪体的融雪体形成为能够容纳的断面形状，并且该融雪体的融雪体的融雪体的融雪体的融雪体的融雪体的融雪体的融雪体收纳槽部3位于侧面部2c中的靠近下侧的位置。

图2例示了本发明的缘石块的另一实施方式，由于结构与上述图1的方式基本相同，所以对相同的结构进行说明。省略，对不同的结构进行说明。在缘石块1的电线收纳槽部3上在长度方向上以等间隔状配置有多个电线支承部件4。该融雪体的电线支承部件4将基部4a埋设于内侧，在槽内突出的C形状的支承部4b上形成可容纳各融雪体的电线。

图3表示本发明的缘石块的实施的另一方式，由于结构与前面描述的图1的方式基本相同，所以对共同的结构进行说明。省略，对不同的结构进行说明。缘块1的电线收纳槽部3以可容纳截面C形状的电线握持管5的方式形成。在施工时，通过在该长度状电线握持管5内收纳各融雪体中的电线，仅将缘石块1并排设置为使电线握持管5容纳在该电线收纳槽部3内，就能够高效率地施工。就是这样。

图4表示本发明的缘石块的实施的另一方式，由于结构与前面描述的图1的方式基本相同，所以将给出共同的结构的说明。省略，对不同的结构进行说明。缘石块1的电线收纳槽部3以比入口侧更宽的截面形状形成截面C形状的电线握持管6可拆装的方式形成。具体地说，在代码握持管6以密嵌状嵌合在代码收纳槽部3上的状态下，各缘石块1的相邻端部对齐。该电线握持管6在截面C形状的前端部的一方或双方形成电线通槽6a，在与电线收纳槽部3嵌合的状态下，除电线通槽6a外，前端部闭合，各融雪体的融雪体的融雪体。把度收纳在密封状态下。

[0009]除了上述各方面之外，还可以是例如图4中的缘石块1与图3中的向导握持管5组合的方面。

图5示出了采用图1所示方式的缘石块1的施工示例，其中在铺设有小石子8的基础7上内置电热加热器9a。排水块9、内置电热加热器10a的混凝土板状融雪块10…以使两者的上表面一致的方式并列铺设，融雪水从融雪块10上表面流向排水块9上表面侧，从同上表面的切割槽9b经内部的排水孔9c排出。并且，在各面板状融雪块10旁边沿并列状设置缘石块1，使各融雪块10中的电线10b容纳在电线收纳槽部3中。同样地，在排水块9旁边沿并列状设置缘石块1，使得各排水块9中的电线9d进入电线收纳槽部3。缘石块1的配置分别比排水块9和融雪块10稍高，融雪水经排水块9排出。在上述施工例中，各排水块9的电线9d和各融雪块10的电线10b分别与相邻的电线电气连接，以供电。一侧可以连接处理一根线。

图6例示了采用本发明的路缘石块1的其他施工例，在台阶下的板状融雪块10旁使用图1的路缘石块1，电热加热器11a。在内置的混凝土制阶梯状融雪块11旁边，分别配置有以可沿该块旁边设置的方式形成的缘石块1。并且，将阶梯下的面板状融雪块10的代码10b和阶梯状融雪块11的代码11b收纳在代码收纳槽部3中。